

# 導入可能性調査エリア選定の進め方について

## 今後の導入可能性調査に向けた手順

## 研究会の流れ

H28年度

①導入可能性マップの作成

既存情報を収集・整理し、可能性のあるエリアをマップ化

- 地上高70mの年間平均風速が5.5m/秒以上の地域を抽出
- 法的に禁止されている地域、及び居住地域を除外

⇒ 「沿岸域導入可能性一次マップ」の作成

9月上旬 (9/9)

第1回研究会

- ・研究会の設立・メンバーの顔合わせ
- ・現状認識、事例の共有

②調査エリア候補抽出

沿岸域導入可能性一次マップから、調査対象となるエリア候補を抽出

- 風況・法的制約・インフラ整備・漁業権などの情報を整理
- 導入しやすい、あるいは課題の少ないエリアを抽出

⇒ 「調査候補地カタログ」の作成 (11箇所)

11月中旬 (11/16・17)

先進事例調査 (長崎県五島市)

- ・研究会構成メンバー (漁協・市町関係者) による先進事例調査視察
- ・意見交換会を通じた漁業協調事例の調査 (メリット・デメリット等)

③エリアの二次絞り込み

調査候補地カタログについての関係者等意向調査を実施

- 研究会委員への意向確認 (12月)
- 風力発電関連事業者へのアンケート調査 (12月)

⇒ 意向調査を踏まえ、「導入可能性調査エリア案」を事務局で絞り込み (2箇所程度)

本日 (11/25)

第2回研究会

- ・沿岸域導入可能性一次マップ
- ・二次絞り込み方法の検討

④調査エリア決定

導入可能性調査エリア (2箇所程度) を、研究会にて決定

⇒ 「導入可能性調査エリア」を決定 (2箇所程度)

3月下旬

第3回研究会

- ・導入可能性調査のエリア選定
- ・次年度の研究会の進め方

研究会同日開催

県民フォーラム

- ・洋上風力発電の県民向けフォーラム
- ・基調講演 (学識経験者) ほか

H29年度

⑤風況観測事業者公募

導入可能性調査エリアにおける風況観測事業者を県が公募

- 事業者公募 (企画提案)・委託契約締結 (4~5月)
- 将来的に風力発電事業を実施する事業者を想定

⇒ 平成29年6月~平成30年5月まで風況観測を委託

6月上旬  
10月下旬  
1月

第4~6回研究会

- ・調査エリアでの今後の展開方策
- ・宮城県における沿岸域風力導入の考え方や、地域振興策、提言等の検討
- ・研究会の成果取りまとめ

⑥風況観測

導入可能性調査エリアにおいて風況観測の実施 (1年間)

⇒ 2箇所を1年間観測 (具体的な位置は公募により決定)

研究会同日開催

成果報告会

- ・研究会の成果報告
- ・基調講演・企業プレゼン

H30年度~

⑦事業実施に向けた協議等

風況観測結果を踏まえ、必要に応じて地域協議会の設置等

- 対象となるエリアの関係者による協議会

⇒ 立地場所 (公共管理の場合、事業者公募に向けた調整) 等の条件整備をはじめ具体的な導入に向けた対応を検討

これ以降、地域協議会等へ移行する